

昨年、米国のテレビ局が製作したドキュメンタリー番組を見た。パレスチナの少女が自爆テロで同い年のイスラエルの少女を巻き添えにした。悲嘆に暮れる二人の母親が宗教と国家の壁を乗り越え、母親同士、悲しみを分かち合おうとする姿を記録したものである。

私は期待を込めて興味深く見たが、問題は平和な日本に住む私などの思考で容易に理解できるものではなかった。もくろみは裏切られ、テレビ会議形式の顔合わせは何とも言いがたい虚無感を伴って終わった。

戦後広島市の復興には目覚ましいものがあった。だが、単に復興なら何も広島が特別というわけではない。その復興を特別なものにしたのは、人類初の核兵器の被害を受けた広島が、その大

経営コンサルタント

岡村有人



おかわら・くにと 1947年広島市生まれ。2003年音響機器メーカー・ポーズの副社長を退職後、独立。東京都世田谷区。

量破壊性と後々まで地球生態系に与える放射能の危険性を市民の総意において全世界に訴えようと決意した

平和記念公園の南側を東

川面を越えて中国山地のかなたへと走り抜ける。一方で百メートル道路は、象徴的に世界の道につながる。丹下氏が戦前青春時代を過ごし、こよなく愛した広島であればこそ、島の街から平和の象徴を彫り出したとも言えるような無比無類の都市づくりが実現したのであろう。

昨年の七月、地下鉄銀座後日英文の要約とともにイリノイ州スプリングフィールドの自宅に発送した。そのことを忘れかけていた十一月、二平にわたって

私の戦後の広島体験を語ると、十分足らずではあったが、会話は更に弾んだ。拙著「七つの川は銀河へ届け」を贈ることを約束し、

広島だけのものではなく

「二つの軸線」

ことである。

西に走る百メートル道路、

今後の平和都市構想を進めていく上で、丹下氏のいう、おながが大きい女性の

カ人夫婦とその娘であるびつしりと話まった手書き

た十一月、二平にわたって

その人類史上、特記されるマイルストーン(里程標)となったのは、一九四九(昭和二十四)年八月六日公布

館、原爆慰霊碑、そして原爆ドームがなす軸線は、実

会議所ビルの機能本位で訪の旅行者と分かった。席

三人連れに出会った。三人

かさと尊厳について多くの

和二十四)年八月六日公布

に象徴的である。この南か

いしていくことが重要だと思

とも力ジュアルな装いにテ

かさと尊厳について多くの

の広島平和記念都市建設法

から北へと走る軸線は、陽光

いっていくことが重要だと思

とも力ジュアルな装いにテ

かさと尊厳について多くの

である。この平和への理想

きらめく瀬戸内海から吹く

いっていくことが重要だと思

とも力ジュアルな装いにテ

かさと尊厳について多くの

を象徴する都市づくりは、

南風に乗って慰霊碑に届

いっていくことが重要だと思

とも力ジュアルな装いにテ

かさと尊厳について多くの

丹下健三氏のコスモポリタ

き、祈りとともに太田川の

いっていくことが重要だと思

とも力ジュアルな装いにテ

かさと尊厳について多くの

ではない。平和公園を中心

「この旅で最も印象に残

いっていくことが重要だと思

とも力ジュアルな装いにテ

かさと尊厳について多くの